

ニカラグア定期報告（2025年9月）

【要旨】

内政面では、ジェンスケ外相に加え、モンカダ前外相も改めて外相に任命され、外相2名体制（共同外相）となった。また、外交面では、ラレアノ・オルテガ大統領顧問、ジェンスケ外相の他、治安当局トップが相次いで中国及びロシアを訪れた。

【主な出来事】

1 内政

（1）閣僚級高官等人事

ア 大統領顧問解任

2日付官報公示8月29日付大統領決定第133－2025号により、オルランド・ホセ・タルデンシジャ国際関係・政策担当大統領顧問（閣僚級）が解任された。

イ 対外協力担当外務次官の任命

2日付官報公示8月29日付大統領決定第135－2025号にて、ジェシカ・パディジャ対外協力担当外務次官が任命された。同外務次官は、これまで女性大臣、駐ドミニカ共和国大使、駐パナマ大使を歴任。

ウ （共同）外相の任命

24日付官報公示同月23日付大統領決定第151－2025号にて、ジェンスケ外相及びモンカダ大統領顧問（前外相）が共に外務大臣として任命された。ニカラグアでは、2025年1月30日付で成立した憲法改正によって、共同大統領制が導入されて以来、大統領を含め、政府及び関係機関の長を二人体制にする動きが進んでいる。

（2）第46回国家警察創設記念式典

ア 25日、マナグア市内信仰の広場において第46回国家警察創設記念式典が開催され、同式典にオルテガ・ムリージョ両共同大統領が出席した。同式典にて演説を行ったオルテガ共同大統領は、国家警察創設はニカラグア革命に端を発すると言及しつつ、2018年の社会騒乱が「革命」を強制的に終わらせようとする動きであったと述べ、このような潮流にあっても国家警察が平和構築に尽力したと賞賛した。

イ 26日には、マナグア市内にてオルテガ・ムリージョ両共同大統領、アビレス国軍司令官、コロネル内務大臣、ディアス国家警察長官等が参列する中、国家警察創設記念パレードが執り行われた

2 外交

(1) CELAC 外相級会合

1 日、ララ大統領顧問及びジェシカ・パディジャ対外協力担当外務次官が、CELAC オンライン外相級会合にニカラグア政府代表として出席。ララ顧問が、ニカラグアの主権擁護、ラ米の平和追求、政治介入の拒絶等をニカラグアにとっての主要関心事項として発言した。

(2) 中国によるグローバルガバナンス・イニシアティブへのニカラグア政府の支持表明

1 日、オルテガ・ムリージョ両共同大統領は、連名の書簡により、習近平中国国家主席の提唱する「グローバルガバナンス」イニシアティブへの支持を表明した。

(3) 青年大臣のハノイ訪問

1 日～2 日、ダルリング・エルナンデス青年大臣は、ベトナム独立 80 周年記念式典出席のため、ベトナム・ハノイを訪問。同式典に出席すると共に、1 日、トー・ラム・ベトナム共産党党首（書記長）と懇談した。

(4) ラウレアノ・オルテガ大統領顧問及びジェンスケ（共同）外相の中国訪問

ア 2 日、中国・北京訪問中のニカラグア政府代表団（ラウレアノ・オルテガ投資・貿易・国際協力担当大統領顧問、ジェンスケ外相、カルロス・サルバ財務・公債省顧問）は、様々な中国企業との新たな協力計画を推進するため会合を行った。同日、建設関連企業である CCECC、POWERCHINA、CCCC 各社とニカラグアにおけるエネルギー、上下水道、保健、インフラといった各プロジェクト展開について話し合った。その他、薬剤供給プログラム立ち上げのために SINOPHARM 社、サイバーセキュリティに特化した企業である CEIEC 社、医療機関用モニター機材の供給プログラムを進めるため WANDONG MEDICAL 社、情報通信関連計画のフォローアップのため Huawei 社関係者らと懇談した。

イ 3 日、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問が、中国政府の実施する軍事パレード式典に参列すると共に、中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利 80 周年記念レセプションに出席した。

(5) 米務省による「中米において法の支配を損おうと中国共産党と協力する中米諸国民に対する査証制限」発表

4 日、米務省は「中米において法の支配を損おうと中国共産党と協力する中米諸国民に対する査証制限」と題するプレスステートメントをルビオ国務長官の名前で発表した。同ステートメントにより、中国共産党の代理として、中米における法の支配を損なう活動を行う中米諸国民に対する米国査証の発給を制限することが可能となった。また、同措置は、直接該当案件に関わった個人のみならずその近親者にも適用される。

(6) 北朝鮮建国77周年への祝意表明

6日、9日の北朝鮮建国77周年を前に、ムンギア駐北朝鮮ニカラグア大使は、オルテガ・ムリージョ両共同大統領による金正恩北朝鮮國務委員長宛建国祝意表明メッセージを北朝鮮外務省高官に手交した。

(7) ディアス国家警察長官の中国訪問

14日、ディアス国家警察長官は、北京にてWan Xiaohong（王小洪）中国公安部長と会合を行った。同部長は、ニカラグア国家警察職員へのサイバー犯罪・麻薬密輸・テロリズム対策など専門能力向上を目的とした研修他、ニカラグアと中国の二国間協力を高く評価している旨述べ、万里の長城記念金メダルを授与した。また、16日、同長官は、連雲港市にて開催されたグローバル公共安全協力フォーラムに出席した。

(8) アビレス国軍司令官の中国・ロシア訪問

ア 16日～20日、アビレス司令官は、北京にて第12回 Xiangshan フォーラム「国際秩序維持及び平和的発展促進」及び第6回中国・CELEAC安全保障・国防フォーラムに出席すると共に、Zhang Youxia 中国中央軍事委員会副委員長及びLiu Zhenli 同委員と懇談した。

イ 20日～22日、同司令官は、ロシア・モスクワを公式訪問し、両国間の国軍協力関係強化のためアンドレイ・レモヴィチ・ベロウソフ国防大臣と会談した。

(9) ルビオ米國務長官による独立記念日に寄せるニカラグア国民への改めての連帯表明

15日、ルビオ米國務長官は、ニカラグア独立204周年の機会にニカラグア国民への連帯を表明するメッセージを発出した。同長官は、ニカラグア国内に住む同国民及び同国からの亡命を余儀なくされたニカラグア国民が迫害や弾圧に恐れを抱かずとも生活できるように民主主義を再建すると述べ、米国が自由、公正そして民主的なニカラグアを求めるニカラグア国民の意思を引き続き支援していく旨、表明した。

(10) ラウレアノ・オルテガ大統領顧問のロシア訪問

ア 22日、ラウレアノ・オルテガ投資・貿易・国際協力担当大統領顧問は、ロシア・モスクワを訪問し、ニカラグア政府を代表してウクライナにおけるロシアの支配地に関する協力協定等に署名した（いわゆる、ルハンスク人民共和国、ドネツク人民共和国、ザポリージャ州、ヘルソン州、クリミア半島セバストポリ市領域にかかるもの）。同署名式典には、ラブロフ露外相他が同席し、ラウレアノ・オルテガ大統領顧問に、ロシアとの国際協力に並外れた貢献をした人物に与えられる「協力記章」勲章が授与された。

イ 24日、同大統領顧問は、ロシア国営原子力企業ロスアトム社にて会合を開き、同社協力のもとマナグアに建設予定の核医学センター設計・建設に係るフォローアップを行った。

(11) オルテガ政権によるニカラグア人再入国者等への対応状況と米移民政策批判

25日、オルテガ共同大統領は、マナグア市内「信仰の広場」にて催された国家警察創設46周年記念式典において、トランプ米政府によって強制送還されるニカラグア人を「歓迎して (con los brazos abiertos)」受け入れていると発言した。また、同大統領は、米国移民政策を指して「恐ろしい」、「残忍な」と評し、各国移民が米国から送還される直前に収監されていた事案を厳しく断罪した。

その一方で、ニカラグアの人権状況に関する国連専門家グループ (GHREN) は、2018年6月～2025年8月の期間、ニカラグア人が同国への再入国を拒否された人数は318名、国籍剥奪事案は452件に及んでいると発表している。

(12) 第80回国連総会：モンカダ（共同）外務大臣による一般討論演説

29日、モンカダ（共同）外務大臣が第80回国連総会に出席し、一般討論演説を行った。同演説概要は以下のとおり。

ア 全人類が協力して、帝国主義、植民地主義、覇権主義から自分たちの価値観を守っていかねばならない。

イ 支配者として振る舞ってきた超大国は、気候変動や経済封鎖政策等により生じた不利益に対する賠償・補償をしなければならない。

ウ 移民排斥は非人間的であり非難に値する。

エ 革命の真っ只中にあるベネズエラ及びキューバへの連帯の意を表す。

オ 麻薬密売は、麻薬消費者の住む裕福な大国の需要により発生したビジネスである。

カ イスラエルによるパレスチナ人へのジェノサイドを非難する。

キ 国連創設80周年の節目にあって設立当初の理念・理想に立ち返るべきである。

(13) 米國務省による人身取引報告書公表

29日、米國務省は、「2025年人身取引報告書」を公表し、ニカラグアの現状評価について、ティア3「人身取引対応の最低基準を完全に満たさず、同基準を満たすための重要な努力も認められない国・地域」を継続する旨発表した。

3 経済

(1) 米國務省による対米国人投資家アラート発出

30日、米國務省は、ニカラグアにおいては法の支配の然るべき適用若しくは予測可能なビジネス環境が期待できないとして、米国人投資家を対象にアラートを発出した。

＜主要経済指標＞

	2023 年 7 月	2024 年 7 月	2025 年		
			6 月	7 月	8 月
年間累計インフレ率	3.39%	3.02%	0.91%	0.83%	1.11%
貿易収支（百万ドル）	▲302.8	▲350.6	▲306.9	N. A.	N. A.
輸出 FOB（百万ドル）	328.6	345.6	481.4	N. A.	N. A.
輸入 FOB（百万ドル）	631.2	696.2	788.3	N. A.	N. A.
海外送金受取額（百万ドル）	408.9	448.5	N. A.	N. A.	N. A.
外貨準備高（百万ドル/期末）	5,115.5	5,903.0	7,206.0	7,431.0	7,578.2

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）